

六、職業紹介業務規程關係

一 昭和二十年十一月十日厚生省告示第百十六條（職業紹介業規程指定ノ件）

一 職業紹介業務規程ノ施行ニ關スル件（昭二〇・一一・一四、厚生省勸發第一一〇〇號厚生省
勤勞局長）

厚生省告示第百十六號

職業紹介業務規程左ノ通定メ昭和十六年十二月厚生省告示第五百八十八號職業紹介規程及昭和十七年二月厚生省告示第四十四號ハ之ヲ廢止ス

昭和二十年十月十日

厚生大臣 芦 田 均

職業紹介業務規定

第一章 總 則

第一條 職業紹介法ニ依リ政府ノ管掌スル職業紹介事業ノ業務ニ付テハ別ニ定ムルモノヲ除ク外本規程ニ依ル。

第二條 職業紹介事業ハ國民ノ完全就職ヲ目途トシ求人者並ニ求職者ノ個別的事項ヲ考慮ノ上勞務ノ適正ナル配置ヲ圖ルモノトス。

第三條 勤勞署ノ職員ニシテ職業紹介ニ關スル事務ニ從事スル者ハ勤勞署ノ利用者ニ對シテ懇切丁寧ヲ旨エシ公正且迅速ナル取扱ヲ爲シ又職務上聞知セル身分又ハ秘密ニ屬スル事項ヲ故ナク他ニ

第二章 求人

第一節 申込ノ方法

第四條 求人ノ申込ハ從業者ノ就業地ヲ管轄スル勤勞署ニ之ヲ爲スベシ但シ特別ノ事情アル場合ハ求人者ノ住所又ハ事務所所在地ヲ管轄スル勤勞署ニ申込ムコトヲ得

第五條 求人者求人ノ申込ヲ爲サントスルトキハ本人又ハ其ノ代理人出頭シ勤勞署ノ交付スル所定ノ求人票ニ所要事項ヲ記載シ之ヲ爲スベシ但シ求人者若ハ其ノ代理人出頭シ難キ場合又ハ急ヲ要スル場合ニ於テハ書面又ハ電話ヲ以テ申込ムコトヲ得

勤勞署必要アル場合求人者ニ對シ前項ノ外求人ニ關シ必要ナル書類ノ提出ヲ求ムルコトヲ得

第二節 申込ノ時期

第六條 求人ノ申込ハ成ルベク其ノ紹介期限前相當期間ヲ置キ之ヲ爲スベシ

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル求人ニ付テハ必要ニ依リ其ノ申込ノ時期ヲ指定スルコトアルベシ
一 新規國民學校修了者ヲ雇入レントスルモノ
二 季節的ニ從業者ヲ雇入レントスルモノ

三 其ノ他必要ト認メタルモノ

第三節 申込ノ有效期間

第八條 求人ノ申込ハ紹介期限ノ特定セルモノ其ノ他特ニ必要アルモノヲ除クノ外之ヲ受理シタル日ヨリ翌月末日迄ノ間有效トス

第四節 申込ノ變更、不受理及取消

第九條 勤勞署必要アリト認ムルトキハ求人ノ申込ノ員數、募集希望地域、紹介期限等ニ付指導ヲ加フルコトアルベシ

第十條 求人ノ申込内容法令ニ違反スルトキハ求人ノ申込ノ員數、募集希望地域、紹介期限等ニ付指導ヲ加フルコトアルベシ

第十一條 求人者求人ノ申込ヲ爲シタル後其ノ内容ヲ變更セントスルトキ又ハ申込ヲ取消サントスルトキハ直ニ其ノ旨申出ヅベシ

第十二條 求人ノ申込ハ成ルベク求職者ノ居住地ヲ管轄スル勤勞署ニ本人出頭シ勤勞署ノ交付スル

第三章 求職

所定ノ求職票ニ所要事項ヲ記載シ之ヲ爲スベシ但シ勤労署ニ出頭シ難キ場合ニ於テハ居住地ノ市區町村長又ハ聯絡委員ニ之ガ取次ヲ依頼スルコトヲ得

市區町村長又ハ聯絡委員前項ノ取次ノ依頼ヲ受ケタルトキハ速ニ所轄勤労署ニ之ヲ取次グベシ
第十三條 勤労署必要アリト認ムルトキハ求職者ニ對シ其ノ就職希望先、就職希望地域等ニ付指導ヲ加フルコトアルベシ

第十四條 第五條第二項、第八條、第十條及第十一條ノ規定ヘ求職ノ申込ニ之ヲ準用ス

第四章 聯絡

第十五條 勤労署受理シタル求人ノ申込ニシテ自廳府縣内ノ他ノ勤労署管轄區域ヨリ從業者ヲ雇入レントスルモノ又ハ自署管内ニ於テ斡旋困難ナリト認ムルモノニ付テハ速ニ自廳府縣内ノ適當ト認ムル勤労署ニ直接聯絡スペシ但シ數勤労署ノ管轄區域ニ亘リ多數ノ從業者ヲ雇入レントスルモノナルトキハ所轄廳府縣ニ其ノ處理狀況ヲ報告スベシ

他廳府縣府内ヨリ從業者ヲ雇入レントスルモノニ付テハ所轄廳府縣ニ聯絡スペシ但シ三十人未満ノ從業者ヲ雇入レントスルモノナルトキハ當該勤労署ニ直接聯絡スルユトヲ得

第十六條 前條第二項ノ聯絡ヲ受ケタル廳府縣ハ速ニ適當ト認ムル廳府縣ニ之ヲ聯絡スペシ但シ求

人ノ内容特ニ重要ナリト認ムルモノ其ノ他必要アリト認ムルモノニ付テハ豫メ厚生省ノ指揮ヲ承クベシ

前項但書ノ場合ニ於テ急ヲ要シ指揮ヲ承クル暇ナキトキハ直ニ聯絡ノ上其ノ處理狀況ヲ厚生省ニ報告スベシ

第十七條 前項ノ聯絡ヲ受ケタル廳府縣ハ速ニ適當ト認ムル勤労署ニ之ヲ聯絡スペシ
第十八條 第七條ノ規定ニ依リ申込ノ時期ヲ指定セル求人ノ聯絡ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコトアルベシ

第十九條 勤労署其ノ管轄區域外ニ就職セントスル求職ノ申込ヲ受理シタルトキハ速ニ適當ト認ムル勤労署ニ之ヲ聯絡スペシ但シ求職者多數ニ上リ又ハ特ニ重要ト認ムルトキハ豫メ所轄廳府縣ニ

報告スベシ

第二十條 聯絡ハ求人票又ハ求職票ノ副本ニ依リ之ヲ爲スベシ

第二十一條 勤労署求人又ハ求職ノ聯絡ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ見込狀況ヲ所轄廳府縣（直接聯絡ヲ受ケタルトキハ聯絡ヲ發シタル勤労署）ニ通報シ且取扱終了ト同時ニ其ノ處理狀況ヲ右區分ニ從ヒ所轄廳府縣又ハ勤労署ニ通報スペシ

前項ノ通報ヲ受ケタル廳府縣ハ速ニ關係廳府縣ニ之ヲ通報スベシ

前項ノ通報ヲ受ケタル廳府縣ハ速ニ管内ノ關係勤勞署ニ之ヲ通報スベシ

第二十二條 勤勞署既ニ聯絡ヲ爲シタル求人ニ付第十條第一項ニ依リ取消ヲ爲シタルトキ又ハ第十一條ノ變更又ハ取消ノ申出ヲ受ケタルトキハ直ニ電信、電話又ハ文書ニ依リ之ヲ聯絡先ニ通報スベシ

既ニ聯絡ヲ爲シタル求職ニ付第十四條ノ規定ニ依リ求職ノ申込ヲ取消シ又ハ其ノ内容ノ變更若ハ申込ノ取消ノ申出アリタルトキ亦同ジ

第五章 求人又ハ求職ノ開拓

第二十三條 勤勞署ハ常ニ其ノ管内ニ於ケル勞務需給ノ狀況ヲ的確ニ把握スルト共ニ特ニ求人ノ積極的開拓及必要ニ應シ求職ノ開拓ニ努ムヘシ

第六章 紹介

第二十四條 勤勞署ハ傷痍軍人、復員軍人其ノ他特別ノ事情アリト認ムル求職者ニ付テハ他ニ優先シテ紹介スルコトヲ得

第二十五條 勤勞署求職者ヲ求人者ニ紹介セントスルトキハ求職者ニ紹介狀ヲ交付スヘシ但シ勤勞

署求職者ヲ一定ノ場所ニ集合セシメ求人者ヲシテ銓衡セシムル等ノ場合ニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得

第二十六條 求職者前條ノ紹介狀ノ交付ヲ受ケタルトキハ紹介セラレタル求人者ニ之ヲ提示スベシ

第二十七條 求人者求職者ノ紹介ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク其ノ採否其ノ他ノ事項ヲ勤勞署ニ報告スベシ但シ日傭勞務者ノ紹介ヲ受ケタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二十八條 勤勞署ハ求人者ノ行フ銓衡ニ立會ヒ又ハ必要ナル指示ヲ爲スルコトアルベシ

第二十九條 勤勞署ハ必要ニ應シ求人者ヨリ求職者ノ銓衡ノ委任ヲ受クルコトヲ得

第三十條 勤勞署其ノ受理セル求人又ハ求職ノ申込ニ對シ紹介ヲ爲スコト能ハザリシ場合ハ其ノ有效期間終了ニ際シ求人者及特ニ必要ト認ムル求職者ニ對シ之カ處理狀況ヲ通報スベシ

第七章 職業ノ相談及輔導

第三十一條 勤勞署ハ職業（自營業開業ヲ含ム）ニ關スル指導ヲ受ケントスル者ニ對シテハ職業ノ相談其ノ他必要ナル啓蒙ヲ爲シ適當ナル斡旋ヲ爲スモノトス

第三十二條 勤勞署ハ職業選擇ニ關シ指導ヲ受ケントスル者ニ對シテハ其ノ身體個性家庭事情等ヲ考慮スルト共ニ職業ノ特質及將來性就業場所其ノ他求人事情等ヲ參酌シテ適職選定ノ相談ニ應ズ

ルモノトス

第三十三條 勤勞署ハ第三十一條及前條ニ依ル職業相談ノ顛末ヲ所定ノ職業相談票ニ記載スベシ
第三十四條 勤勞署ハ必要ニ應シ其ノ紹介ニ依リ就職スル者ニ對シ其ノ赴任ニ關シ必要ナル斡旋ヲ爲スベシ

第三十五條 勤勞署ハ其ノ管内ニ就職セル者ニ對ジ必要ナル輔導ヲ行フモノトス
厚生省勤發第一一〇〇號

昭和二十年十一月十四日

厚生省勤勞局長

各廳府縣長官殿

職業紹介業務規程ノ施行ニ關スル件

十一月十日厚生省告示第一一六號ヲ以テ職業紹介規程ヲ廢シ新ニ職業紹介業務規程ヲ制定即日施行相成候處右ハ戰爭終結ニ伴ヒ職業紹介事業ヨリ戰時色彩ヲ一掃シ平和國家建設ノ線ニ沿ツテ國民ノ完全就職ヲ圖ラントスルモノニ有之候ニ付テハ左記御了知ノ上別紙要領ニ依リ業務ノ運營ニ遺憾

ナキヲ期セラレ度

記

- 一、職業紹介業務ニ携ハル職員ノ執務態度及心構等ニ付テハ充分考慮ヲ拂ヒ民衆ノヨキ相談相手タラシムル様指導スルコト
- 二、廳府縣及勤勞署ニ於テハ職員ノ實務修得ニ付特ニ留意シ業務運營上ノ相互研究ヲ爲サシムルハ勿論必要ニ應ジ定期又ハ臨時ニ講習會研究會等ヲ開催スルコト
- 三、勤勞署ハ管内求人者及求職者ニ對シ今回制定セラレタル業務規程ノ内容及趣旨ヲ急速ニ理解セシムル爲必要ナル措置ヲ講ズルコト
- 四、勤勞署ハ絶エズ管内ノ産業事情、失業狀況等ノ調査ヲ行ヒ常ニ其ノ勞務需給ノ状態ヲ把握シ置クコト
- 五、廳府縣及勤勞署ニ於テハ豫メ月間又ハ年間行事ヲ定メ諸般ノ業務ヲ計畫的ニ遂行スルコト
- 六、勤勞署ハ署内ノ人的配置及設備ノ改善ニ付特ニ左ノ事項ニ留意スルコト
(イ) 署内ノ人的配置ニ付テハ窓口ニ重點ヲ置キ有能練達ノ職員ヲ配スルコト
(ロ) 署内ノ設備ハ求人者及求職者本位ニ改善シ外來者ニ對シ明朗ナ氣分ヲ與フル様工夫ヲ凝ス

勤労配置規則第十條及第十一條ノ届出又ハ報告ヲ受理シタルトキハ遅滞ナク解雇ニ因リ失業スベキ者ノ職業紹介ニ關シ臨機ノ措置ヲ講スルコト。

八、業務規程ニ基ク諸票並ニ諸通報様式ハ別途指示アル迄從來ノモノヲ使用スルコト。

職業紹介業務規程事務取扱要領

第一 總則ニ關スル事項

一、職業紹介業務規程(以下規程ト稱ス)第一條ノ「別ニ定ムルモノ」トハ新規國民學校修了者、石炭季節労務等ノ職業紹介要領ヲ豫想シ居ルモノナルコト

第二 求人ニ關スル事項

二、求人申込ヲ爲シ得ル者ノ資格及求人申込ノ時期ニ關スル從來ノ制限ヲ撤廢シ規程第七條ニ依リ申込ノ時期ヲ指定セラル場合ノ外何人ト雖モ隨時求人申込ヲ爲シ得ルコトヲ原則トシタルコト

三、規程第四條ノ「特別ノ事情アル場合」トハ概末左ノ如キ場合ナルコト

イ、數勤勞署又ハ數廳府縣ノ管轄區域ニ亘リ支店又ハ出張所ヲ有スル求人者が支店又ハ出張所ニ於テ人事ヲ取扱ヒ居ラザル爲本店ニ於テ一括申込ヲ爲スヲ便宜トスル場合

ロ、求人者が勤労署ノ管轄區域ヲ異ニスル地ニ住所ト事務所ヲ有シ事務所ニ使用スル從業者ノ求人申込ヲ住所地ヲ管轄スル勤労署ニ爲スヲ便宜トスル等ノ場合
船員、漁夫ノ如ク海洋ニテ就業スル場合

四、勤労配置規則第四條ニ依ル届出ニ際シ勤労署ノ紹介ヲ希望スル場合ニ於テハ新ニ求人申込ノ手續ヲ省略シ右ノ届出ヲ以テ本規程ニ依ル求人申込アリタルモノトシテ處理スルコト

五、代理人ヨリ求人ノ申込アリタル場合ハ求人者トノ關係ヲ充分確メ取扱上遺漏ナキヲ期スルコト
六、規程第八條ニ依リ未充足ノ儘有效期間ノ満了セル求人ノ申込ハ求人者ノ意向ヲ徵シ未充足數ニ付期間ヲ更新スル等便宜ノ取扱ヲ爲スコト

七、規程第九條ニ依ル指導ハ充分求人者ヲ納得セシムル様之ヲ行フコト

八、規程第十條ニ關シテハ特ニ左ノ諸項ニ留意フ要スルコト

イ、工場法、工業労働者最低年令法、鐫夫就業扶助規則、兒童虐待防止法等ニ違反スルコトナキ

ロ、藝妓酌婦其ノ他之ニ類スルモノノ求人ニアラザルヤ

ハ、作業内容履備條件等著シク不適當ニアラザルヤ

第三 求職ニ關スル事項

九、勤勞署現ニ就職中ノ者ヨリ求職ノ申込ヲ受ケタル場合ハ充分其ノ求職事由ヲ調査シ妄ニ就職先ノ移動ヲ爲サシムルガ如キコトナキ様留意スルコト

十、求職票ニハ適宜ノ欄ニ傷痍軍人、復員軍人、戰歿軍人遺族、徵用被解除者、戰災者、引揚民、在外邦人家族等ノ區別ヲ表ハス符號等ヲ附シ爾後ノ諸取扱ニ便ナラシムルコト

十一、求職態度ノ不眞面目ナル者、求職意志ノ不鮮明ナル者、漫然ト事務方面ヲ希望スル者、海外ヨリノ復員者ノ引揚民等ニシテ内地ノ事情ニ疎キ求職者等ニ對シテハ慎重ニ職業相談ヲ爲スコト

十二、規程第十四條ニ關シテハ第二ノ六、七、八ニ記述セル事項ニ準ジタル取扱ヲ爲スコト

第四 聯絡ニ關スル事項

十三、規程第十五條第一項但書ノ場合トハ概ネ五十人以上ノ從業者ヲ二以上ノ勤勞署（自署ヲ含ム）ノ管轄區域ヨリ雇入レントスル場合ナルコト

十四、規程第十五條第二項ノ三十人トハ求人申込總數ヲ指稱スルモノニシテ一勤勞署當リノ聯絡數

ヲ謂フモノニハ非ザルコト

十五、規程第十六條第一項ニ依リ厚生省ノ指揮ヲ受クベキ場合ハ聯絡スペキ廳府縣相當廣汎ニ亘リ且特ニ緊要ナルモノナルコト

十六、規程第十五條第一項ニ依ル廳府縣内ノ聯絡ハ能フ限り廳府縣ノ主宰ヲ以テ定例的ニ管下各勤勞署ノ求人求職交換會ヲ實施スル等之が有效且迅速ナル運營ヲ期スルコト

十七、規程第十九條但書ノ多數トハ概ネ三十人以上ノ謂ナルコト

十八、求人聯絡ニハナルベク求人要項相當部數ヲ添附スルコト

十九、求職聯絡ニハナルベク求職者ヨリ履歷書（必要アル場合ハ寫眞戸籍謄抄本）ノ提出ヲ求メテ之ヲ添附スルコト

二十、聯絡ヲ爲ス場合ハ（聯絡）ナル文字ヲ朱書スルコト

第五 求人又ハ求職ノ開拓

二十一、求人開拓ハ今後勤勞署ノ最モ主要ナル事務トナルベキヲ以テ活動ノ主力ヲ之ニ注グコト

二十二、求人開拓ハ當時之ヲ實施シ之が爲專務職員ヲ置キ又ハ職員ヲシテ地區別ニ分擔セシムル等ニヨリ求人者ソ信賴ヲ得ル様努ムルコト

二十三、求人開拓ハ自管内雇傭主ニ對シ之ヲ爲スラ原則トスルモ特別ノ緣故其ノ他ノ事由ニヨリ開拓ノ見込確實ト認メラル場合ニ於テハ所轄勤勞署ノ諒解ノ下ニ他管内雇傭主ニ對シ之ヲ爲スハ、妨ゲナキコト

第六 紹介ニ關スル事項

二十四、紹介ニ當リテハ求人者ノ意向及求職者ノ技能程度、經歷、身體狀況、性質、家庭事情、希望報酬等ヲ慎重勘案ノ上の確ナル成果ヲ得ル如ク之ヲ行フコト

二十五、規程第二十四條ニ依リ第三ノ十二列舉セル求職者ニ關シテハ優先紹介ヲ原則トスルモ各求職者ノ家庭事情ニヨリ緩急ヲ制スルノ考慮ヲ拂フコト

二十六、出頭セル求職者ニ對シ紹介ヲ爲スコト能ハザル場合ト雖モ徒ニ失望落胆セシムルガ如キ事ナキ様指導スルコト

二十七、規程第二十五條ニ依リ求職者ニ紹介狀ヲ交付スル場合ハ求人者ノ住所（所在地）道順等ヲ詳細懇切ニ指示シ必ズ本人出頭ノ上求人者ト面接スル様指導スルコト

二十八、規程第二十七條ニ依ル採否其ノ他ノ報告ハ必ズ之ヲ勵行セシム特ニ不調ノ場合ハ其ノ理由ヲ能フ限り具體的ニ報告セシムルコト

二十九、

三十、規程第三十條ニ依ル處理狀況ノ通報ニハ取扱ノ經過及紹介ヲ爲スコト能ハザリシ理由ヲ具體的ニ記載スルコト

第七、職業ノ相談及輔導ニ關スル事項

三十一、規程第三十一條ノ職業相談竝ニ斡旋ハ左ニ依リ實施スルコト

イ、勤勞署ハ管内及近接地ニ於ケル社會、產業、經濟ノ諸事情ヲ精密ニ調査スルノミナラズ資材又ハ商品ノ需給狀況、職業ノ分布其ノ他職業相談ノ参考トナルヘキ資料ヲ豐富ニ蒐集スルノ外廣ク官公署、各種組合、團體、學校、養成所等ト聯絡ヲ執リツツ一般職業竝自營業開業ノ相談ニ應ジ得ル如ク努力スルコト

ロ、相談ヲ受クル者ノ資質、經歷、資產、境遇等ヲ調査シ不適當ト認メラル營業ニ就カシムルが如キコトナキ様留意スルコト

ハ、專門的事項ニ關シテハ勤勞配置規則第二條ニ依リ設置セラレタル職業指導事務嘱託者其ノ他各方面ノ權威者等ニ依ル定例職業相談日ヲ設クル等ノ方途ヲ講ズルコト

ニ、必要ニ應ジ資金ノ調達、用具ノ入手、各種組合又ハ團體トノ聯絡又ハ加入等ノ斡旋ヲ爲スコト

三十二、規程第三十二條ニ依リ職業ノ選擇ニ關スル相談ヲ受ケントスルモノアルトキハ同條ニ列舉セラル事項ニ付慎重ニ勘案スルハ固ヨリ必要ニ應ジ身體検査、智能検査、特殊性能検査ヲ實施シ適職不適職ノ發見ニ努ムルコト

三十三、規程第三十四條ノ就職者ニ對スル斡旋ハ必要ニ應ジ左ノ事項ヲ實施スルコト
イ、出發地及到着地兩勤勞署ハ充分ナル聯絡ヲ執リ引卒又ハ出迎ヲ爲スコト
ロ、特ニ必要アル場合ハ職業協會等ヲシテ旅費支度金ノ貸付ヲ爲スコト

三十四、規程第三十五條ノ輔導ハ就職地所轄勤勞署ニ於テ行フヲ原則トスルモ必要ニ應ジ從業者出身地勤勞署モ之ヲ爲シ得ルモノナルコト但シ此ノ場合ハ就職地所轄勤勞署ト充分ナル聯絡ヲ執ルコト

三十五、輔導ハ妄ニ轉職スルヲ防止シ職業ノ安定延イテハ生活ノ安定ヲ得セシムルヲ目途トシ慰問、激勵、指導、調停其ノ他諸幹旋ヲ行フコト

三十六、輔導ノ狀況ハ關係勤勞署ニ之ヲ通報シ必要アル場合ハ出身地勤勞署ヲ通ジ從業者ノ家庭ト

モ聯絡ヲ執ルコト

第八 其ノ他ノ事項

三十七、日傭勞務者ノ職業紹介ニ關シテハ其ノ大部分ヲ勞務協會ノ運營ニ讓ルコトシタルモ勞務協會支部ノ分會ノ設置ナキ區域又ハ勞務協會ノ取扱範圍ニ屬セザル日傭勞務者ノ職業紹介ハ勤勞署ニ於テ本規程ニ準ジタル取扱ヲ爲スコト

三十八、勤勞署ハ事業主臺帳ヲ作成管内主要事業主ニ付所在地(住所)、名稱(氏名)、代表者、電話番號、資產、資本系統、信用狀態、生產品目、當時使用員數、勤勞關係擔當者、宿舍ノ有無、厚生施設等ヲ調查記入シ置キ執務上ノ参考ニ資スルコト

三十九、勤勞署ハ不良、求職者アリタル場合ハ直チニ其ノ氏名、住所、經歷、服裝、容貌、言語、不良事實其ノ他參考トナルベキ事項ヲ近接地勤勞署ニ通報スルコト